

●札幌市の省エネ・節電の取り組みについて

札幌市では、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」において、今後 10 年間で持続可能なまちをつくっていくために、「低炭素社会」と「脱原発依存社会」の実現を目指すこととしています。

こうした中、国および北海道電力から、2010 年度比で最大需要電力 6%以上の削減要請があった今冬においても、省エネ・節電に継続的かつ発展的に取り組んでいくために、本日、今年度第 2 回の「札幌市省エネ・節電推進会議」を開催しました。

会議では、今冬の札幌市の市有施設の節電目標を、昨年冬の 7.3%を上回る 7.8%と定めて節電に取り組むことを決定したほか、これまでに引き続き、市民向けの省エネ・節電推進事業を展開していくことを確認したところです。

札幌の未来をつなぐ子どもたちのため、市民と行政が一体となって、省エネ・節電の推進による創エネに取り組み、札幌の新たなライフスタイルを創り出していきます。

1 今冬の市有施設における率先節電目標

(1) 最大需要電力の削減（ピークカット）

- ① 節電目標値：2010 年度比で 7.8%減

施設別の節電対策取り組み項目等は別紙参照

- ② 数値目標の設定期間：平成 25 年 12 月 2 日～平成 26 年 3 月 31 日

(政府・北電による節電要請期間中)

(2) 消費電力量の削減

札幌市が目指す「持続可能なまち」の実現のためには、ピーク時の需要電力のみならず、消費電力量の削減も進めていく必要があることから、消費電力量の削減にも積極的に取り組んでいく。

2 市民向けの主な省エネ・節電推進事業

(1) さっぽろ節電大キャンペーン

家庭内での節電の取り組みをより一層推進するため、夏と冬の累計で 5 万人以上を目標に市民に節電宣言してもらおう。期間中、連続する 2 カ月間で節電を達成した市民に、抽選等で記念品を贈呈。

- ① 募集期間：平成 25 年 11 月 20 日～平成 26 年 2 月 28 日

- ② 宣言方法：コールセンター（222-4894）またはホームページ*から宣言。

- ③ 記念品応募方法：北海道電力株式会社が発行する「電気ご使用量のお知らせ」（写し可）を応募用紙に貼り付けて郵送（〒060-8799 日本郵便株式会社札幌中央郵便局留「さっぽろ節電大キャンペーン受付係」宛て）

<平成 25 年度夏（7 月～9 月）の実績>

節電宣言数：34,240 人

節電達成世帯の平均電力量削減率（前年比）：15.2%（895 世帯）

節電達成世帯の電力削減量（計）：38,485kWh/月

(2) 家庭の消費電力量見える化推進事業

今年度からの取り組みとして、家庭内の消費電力量を画面に表示できる「見える化機器」をモニター世帯に無料で貸し出し、リアルタイムで確認しながら、効果的に節電に取り組んでもらう。

① 募集モニター世帯数：400 世帯（先着）

② 募集期間：平成 25 年 11 月 1 日～12 月 25 日

③ 申し込み方法：コールセンター（222-4894）またはホームページ*から申し込み。

<平成 25 年度夏（7 月～9 月）の実績>

申込世帯数：367 世帯

節電達成世帯の平均電力量削減率（前年比）：12.5%（11 月 22 日現在、99 世帯）

(3) 札幌 LED 推進キャンペーン

札幌市内の店舗で対象となる LED 照明を 6 千円以上購入し、市内の自宅に設置する市民に対して、2 千円分の SAPICA を交付する。

① 予算額：40,000 千円（20,000 世帯分）

② 募集期間：平成 25 年 4 月 15 日～12 月 28 日

（予算がなくなり次第終了。11 月 22 日現在の申し込み受け付け状況：51.5%）

③ 申し込み方法：申請書と領収書（またはレシート）を郵送（〒060-0003 札幌北三条郵便局留め「LED 推進キャンペーン受付係」宛て）

<平成 24 年度実績>

申し込み受付世帯数：13,511 世帯

予想電力削減量：約 1,800MWh/年（1 世帯当たり約 133kWh/年）

(4) 小中学生向け節電レポート（エコライフレポート）

子ども達が声掛け役となり、家庭における節電の取り組みを推進する。

① 対象：市立全小中学校の児童・生徒

② 期間：夏休み期間中および冬休み期間中

<平成 25 年度夏の実績>

提出率：92.7%

削減電力量（推計）：約 402 万 kWh/月

(5) さっぽろの未来を“明るく”するためにプロジェクト 2013

節電を宣言した 1 年目から、節電を定着させる 2 年目とするために、昨年に引き続き、市民に省エネや節電の必要性を分かりやすく効果的に呼び掛ける。

① 実施期間：平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

② 冬の節電キックオフイベント・街頭啓発

ア 日時：平成 25 年 12 月 2 日（月）12：25～

イ 場所：チ・カ・ホ 北 2 条デジタルサイネージ「Sapporo-North2」前

ウ 内容：北電と協力し、上田市長も参加して節電の呼び掛けを行うほか、デジタルサイネージ「Sapporo-North2」における節電啓発掲示をスタートする。
また、節電宣言の受け付けや啓発グッズの配布を行う。

③ その他の取り組み内容

節電啓発用ポスターの掲出や、広報誌や広報番組での呼び掛け、デジタルサイネージ「Sapporo-North2」における啓発など。

※ 北2条広場デジタルサイネージ「Sapporo-North2」は、日本初のCGM(Consumer Generated Media：消費者が情報を発信していくメディア)型公共サイネージ空間のこと。

(6) ウォームシェアの取り組み

昨年度に引き続き実施。地域に近く、市民が気軽に立ち寄れるまちづくりセンターや地区センター等40カ所以上(昨年度は15カ所)の施設をウォームシェアスポットとして開放するほか、イベント等の実施により、省エネ・節電の定着を図るとともに、人と人のつながりを広げ、深めていくことで、冬の札幌の新たなライフスタイルを市民とともに創出していく。(個別の取り組みは別紙参照)

<平成24年度実績>

事業数：2,540事業

参加延べ人数：約26万人

問い合わせ先

環境局環境都市推進部環境計画課 大平・山本・田縁

電話：211-2877

※ http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecolife_suishin/index.html

札幌市市有施設率先節電対策取組項目(2013冬)

冬の率先節電対策項目

(参考)2012冬の状況

項目	削減内容	2010年 ピーク電力 (kW)	削減電力 (kW)	削減率 (%)
清掃 インフラ	工場内等の照明点灯時間短縮(一部施設稼働停止含)	5,311	486	18.6
	ごみ資源化工場の設備運転制御		500	
	白石清掃工場の灰溶融運転停止による売電		1,800	33.9
下水道 インフラ	水再生プラザの散気装置・ブロワの省エネ化	20,424	603	7.3
	ブロワ運転時間の調整		400	
	汚泥脱水機運転時間の夜間シフト等		481	
水道 インフラ	ポンプ運転の夜間シフト、ポンプ運転台数の見直し、一部施設ヒーティングの停止など	5,545	743	13.4
交通 インフラ	駅舎換気風量制御、照明間引き、改札機・券売機一部停止、標識灯の一部消灯、車両照明の間引きなど	28,620	2,276	8.0
ロードヒーティング	管理手法の見直しによる運転停止[累計35箇所(2011年度8箇所、2012年度18箇所、2013年度9箇所)]	56,442	3,422	6.1
庁舎 (本庁舎、区役所、 消防局、下水道庁舎、 水道局、交通局、 菊水分庁舎)	本庁舎の照明の間引き・LED化、空調温度管理、エレベーター使用制限など	7,194	1,049	14.6
	区役所の照明の間引き・LED化、空調温度管理など			
	その他庁舎の照明の間引き・LED化、空調温度管理など			
市民利用施設 (円山動物園、コンベンションセンター、キタラ等)	照明の間引き・LED化、空調温度管理、施設ヒーティングの運用見直しなど	37,885	3,170	8.4
病院	照明の間引き・LED化など	2,202	—	—
学校	廊下等照明の間引き、職員室等の暖房温度調整など	64,815	2,787	4.3
合計		228,438	17,717	7.8

昨冬の 目標 (kW)	削減率 (%)	12月 実績 (kW)	1月 実績 (kW)	2月 実績 (kW)
468	33.3	2,401	2,845	2,384
1,300				
1,800	33.9	0	1,800	1,800
550	7.2	1,423	1,515	1,558
400				
530				
700	12.6	1,078	757	902
2,251	7.9	3,597	3,301	3,152
2,712	4.8	2,712	2,712	2,712
949	13.2	832	867	1,097
3,336	8.8	4,005	3,733	3,685
—	—	▲ 120	▲ 120	▲ 66
1,620	2.5	1,610	3,110	2,811
16,616	7.3	17,538	20,520	20,035

【節電要請内容】

数値目標 ▲6%以上(平成22年(2010年)比)

要請期間 (数値目標あり)平成25年(2013年)12月9日(月)～平成26年(2014年)3月7日(金) 16時～21時
(数値目標なし)平成25年(2013年)12月2日(月)～平成26年(2014年)3月31日(月) 8時～21時

平均 19,364kW(8.5%)

平成 25 年度 ウォームシェアの取組例（各局の取組）

局		主な取組内容
1	総務局	・札幌留学生交流センター、札幌国際交流館、職員会館、福利施設（食堂）をウォームシェアスポットと位置づけ、市民利用を促進
2	市民まちづくり局	・札幌エルプラザ公共4施設の関連分野に関する情報発信・情報収集スペースである情報センターを、ウォームシェアスポットと位置付け、市民利用を促進
3	保健福祉局	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター全 10 館で開催する講座・行事等及び保養センター駒岡で実施する行事をウォームシェアの取組事業としてPR ・老人福祉センター全 10 館や保養センター駒岡では、コンサートや健康相談会などを実施。老人福祉センターでは、浴室ポイントカードの導入、保養センター駒岡では、ウォームシェア宿泊プランを企画 ・体育館等（全 29 施設）を利用した市民に、抽選でプレゼントがあたる「冬こそ運動！ぼかぼかキャンペーン」の実施 ・各区保健センターで試食の提供、講話などを行う、あったか健康づくり事業「あったか料理で交流会」の実施 など
4	子ども未来局	<ul style="list-style-type: none"> ・若者支援総合センターで、ロビーや予約の入っていない貸室を学生の勉強部屋として提供、若者活動センター全4館でロビーカフェなどを実施（一部金曜のみ） ・さっぽろファクトリーで開催する児童会館で活動する子どもたちのステージ発表「げんキッズフェス〜とびだせ！じどうかいかん！〜」を実施
5	環境局	・豊平公園緑のセンターロビーホール及び図書コーナーをウォームシェアスポットとし、日常的に利用できる場所として提供
6	観光文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・大倉山ジャンプ競技場ミュージアム棟3F 多目的ホール、教育文化会館ロビー、芸術の森センター等をウォームシェアスポットとして提供 ・コンベンションセンターにおいて、しろっぴーと遊ぶウォームシェア屋内スポーツイベントや映画上映、コンサート等を実施する「ウォームシェア・ウィンターフェスティバル 2013」を開催 ・芸術の森で、雑煮や汁粉の提供、ペレットストーブ前での読み聞かせ等を行う「ゆきあかりの祭典」を実施 など
7	教育委員会	・定山溪自然の村内ふれあいハウスの一室、北方自然教育園をウォームシェアスポットとして開放、10 か所の図書館で室温管理を行いウォームシェアスポットとして提供 など

平成 25 年度 ウォームシェアの取組例（各区の取組）

※区庁舎や区民センターのロビー等の活用については記載を省略。（ただし、特徴的な取組は掲載）

区		主な取組内容	
1	中央区	常設	・まちづくりセンター（大通公園、宮の森）にテーブルや椅子を置いて開放
		イベント	・参加者に豚汁等を提供する雪中運動会（苗穂会館）、年忘れ映画鑑賞会（山鼻会館）、新春子どもお楽しみ大会（西地区会館）、おもちつき会（宮の森まちづくりセンター）の開催など
2	北区	常設	・篠路コミュニティセンターのロビーを開放 ・地区センター（新琴似・新川（午後）、屯田（土曜日）、太平百合が原（木曜日午前））内に場所を確保し開放
		イベント	・映画上映会として新琴似シネマ倶楽部パートⅡを開催（プラザ新琴似） ・輪投げ大会の拡大実施（拓北・あいの里地区センター） ・ノボシビルスクを知るセミナー、姉妹都市紹介パネル展（区民センター） ・新・新ほんわかコンサートの開催（新琴似・新川地区センター） ・まちづくりセンターにおける将棋教室や短編映画上映会、ミニコンサート&楽器体験等の集客交流行事の定期的な開催 ・まちづくりセンターによる『(仮称) 雪を用いたアート表現スクール』の実施 など
3	東区	常設	・地区センター（ふしこ、栄、苗穂・本町）内に場所を確保し開放
		イベント	・週1回のウォームシェアデーを設け集会室を開放し、出前講座等を実施（全まちづくりセンター） ・行政相談座談会（ふしこ地区センター）、栄町くつろぎ映画会（栄地区センター）、親子の日（親子を対象としたスポーツ指導：苗穂・本町地区センター）を実施 ・節電に取り組む方々への応援企画として、ウォームシェアの集いを実施（東老人福祉センター）
4	白石区	常設	・区役所ロビーにしろいし文庫を設置し開放（子どもが靴を脱いで上がれるスペースも用意） ・全地区センター内に場所を確保し開放 ・まちづくりセンター（白石、東札幌）で情報交流スペースを開放
		イベント	・札幌コンベンションセンターが主催する「SORAこそだてフェスティバル」、「(仮) しろっぴーとウォームシェアしよう！」を支援（札幌コンベンションセンター） ・「北白石雪フェスティバル」（北白石まちづくりセンター）、「雪上運動会」（菊水まちづくりセンター）、「雪あかり」（北東白石まちづくりセンター）、ウインターコンサート沖縄三線（区民センター）、センター冬の祭典アイスキャンドルを作ろう（菊水元町地区センター）など ・ノルディックウォーキング体験会（保健センター）
5	厚別区	常設	・区役所の情報提供スペースに書籍を配架し開放 ・地区センター（厚別南）のロビーを開放 ・まちづくりセンター（厚別中央）の交流スペースを開放
		イベント	・副都心開発公社と連携し、ウォームシェア実践者を優待するなど、新さっぽろ地区キャンペーン事業を実施（副都心公社関連商業施設） ・冬まつり来場者に啓発用ティッシュの配布（市民交流広場）など

区		主な取組内容	
6	豊平区	常設	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンター（豊平、美園、平岸、中の島）の情報交流スペース等を開放（特に子育て世代層を対象とした絵本の配架や、血圧計など健康器具（平岸）の設置など） ・西岡まちづくりセンター（札幌大学仮事務所内）では、食の安全や感染症相談も実施しながら開放
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす企画や温かい飲み物の提供を行う、おもしろスノーパークの実施（月寒公園） ・地域のサークルによる、とよひら“あったか”コンサート（豊平児童会館）、 ・あったかイイ本の読み聞かせの会（平岸会館・地域交流サロンぴらけし）など
7	清田区	常設	<ul style="list-style-type: none"> ・区総合庁舎内中会議室を開放 ・地区センター（里塚・美しが丘）のフリースペースを開放 ・全まちづくりセンターのロビー、談笑コーナー等を開放
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・清田区のキャラクター「きよっち」を使用した清田区ウォームシェアロゴを作成しイベント会場やポスターなどで啓発 ・健康増進フロアにてミニ健康診断の開催（3回実施予定） ・ホットドリンクを提供する宿泊型避難所体験の実施（里塚・美しが丘地区センター） ・きよたとんとん冬まつりを開催（区役所） ・雪中ウォーキングを行う、白旗山かんじきウォーキング（白旗山）など
8	南区	常設	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センター（藤野、もいわ、すみかわ）のロビーを開放
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・シーニックバイウェイを切り口に、ウォームシェアを呼びかけるリーフレット（温泉割引券付き）をポケットティッシュに添付して配布（区役所、まちづくりセンター等） ・大人の映画会・クリスマス会・演劇鑑賞（もいわ地区センター）、映画鑑賞会（すみかわ地区センター）の開催など
9	西区	常設	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所ロビー内のペレットストーブ周辺に読書コーナ等を設置して開放 ・地区センター（西野）のロビーを開放 ・まちづくりセンター（琴似二十四軒、八軒、発寒、八軒中央、西野）内に場所を確保し開放
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・リユース市に合わせ、お汁粉等の提供、ビンゴ大会などを実施する西区ウォームシェア in ちえりあを開催（ちえりあ） ・ペレットストーブスペースでお茶やお菓子を用意するはちけん・ほのぼのサロンの開催（はちけん地区センター） ・「エコロコ！やまべえ誰でも体操」の実施場所の増加（各老人クラブ、西老人福祉センター）など
10	手稲区	常設	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センター（新発寒、星置）ロビーや会議室で場所を確保し開放 ・手稲コミュニティセンターでロビー内にペレットストーブを設置し開放
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォームシェア推進ロゴマーク「ほこっとていね」シールを作成し、ウォームシェアを啓発（区役所） ・ヘルシーあったかメニューの作成と提供（区役所食堂） ・「しろくま忍者の手洗いソング」で手洗いポイントの学習（保健センター）など